

# 史料

## 戦時教務日誌

二之宮 英雄

図書館ニ保存ニ当リ筆者ノ詞

- 一、此日記ハ在職中ニ記入執務ノ備考トシテ居タモノデアル
  - 一、有史以来ノ混乱、戦時ノ母校ノ動キモ窺レル大学史料ノ一ツトナツタ
  - 一、後日大学史編纂ノ資トナルデアラウ
  - 一、現在職ノ人ニ觸レテモ在リノママ記シテ有ルノハ事実ダカラ止ム得ナイ
- この教務日誌は教務課保存の為残す

(戦時東洋大学の一面記録)

二之宮

(註・筆者二之宮とあるは当時の教務課長二之宮英雄氏である。)

大學歷史(資料)

## 教 務 日 誌

自昭和十九年一月ヨリ

至昭和二十年八月迄

(永久保存)

教務課

昭和十九年

1・26(水) 各科入学試験日割決定 次ノ如シ

晴 3月22日23日(予科)

〃 25日26日(倫国)

〃 28日29日(経国)

本日四月以後ノ人事ニツキ(各課)高嶋米峰学長ヨリ内示アリ

1・29(木) ママ

晴

勤労働員迫リタルニツキ授業補充ノ為専門部二年及ビ学部ノ授業ヲ2月5日迄続行スル旨各学生ノ住所ニ通知出ス。

学生課員山田氏 出校退任ノ挨拶アリ、学長ノ処遇ニ憤懣ノ言辞ヲ各人ニ吐ク。

外事課高野剛氏 寄附問題ニテ警視庁保安課ニ出頭ス。

2・14(月)

予科・専門部各一年考查終ル

明15・16日講堂ニテ陸軍少年飛行兵、少年幹部候補生ノ採用試験行ハル為、東部第三部隊・吉田鏖少尉及兵卒下見聞ニ来校。

2・16(水)

来ル三月ノ行事決定 次ノ如シ

3月3日ヨリ6日迄

学部・予科・専門部三年、経国科ハ富士ノ廠舎ニ野営、残部学生ハ射撃及銃剣術

7日ヨリ10日迄

専門部一年、拓殖二年富士野営

2・24

坂本幹事長、身延ニ出張(氏個人ノ兼職ニテ)

曇少雨

近藤(鉄)君 志木ニ出張

本日ヨリ追試験

3・3

能率上下防空見地ヨリ事務所ヲ講堂ヨリ図書館下ニ移ス、学生課、外事課ヨリ引越ス、他ハ明日以後。

小沢教務課員文部省教員検定委員会ニ出頭

始業式ハ4月7日9時ト決定、入学式モ同日トナル。

3・18  
予科・専門部各一年検評会アリ

入学試験分担決マル

試問 橋高 長原 曹 小沢教授

学科 毛塚 御巫 吉村教授

掛員 教練 学生 外事各課

体力 教練課

及落会議終リ落第者ニ書留便ニテ通知ス、各科一年ニテ16名ナリ

4・5  
各科2年補欠考查ヲ行フ、受験59名

曇

4・10  
出陣教授 休講通知アリ

4・18  
長原鉄腸学生主事ヨリ下記発表

報国団幹部 千葉 安井 中川 大竹

クラス委員 大竹 千葉

級長 安島

校友会前書記 倉持庄太郎氏（西多摩郡増戸村伊奈一四五六 中村力蔵方）ヨリ通知アリ、氏ノ疎  
開先判ル

4・21 校友 難波章次君ニ坂本幹事長ヨリ学生課長交渉アリタルモ固辞ス

4・22 学生課長近藤君辞任ス

5・13 大学復興寄附金本日正午現在ノ報告ヲ會計ヨリ発表ス 寄附ノ公債次ノ如シ

額面 37,339.90 購入額 34,597.90

差引 2,742

現金 65人 14,316円40銭

5・19 学部史学科研究発表会アリ

5・20 午后七時警戒警報アリ、学生50名参集

学長、幹事長、教務課長ニ之宮、学生課長工藤清氏、兼頼、高野氏集合

夜 坂本幹事長、ニ之宮、兼頼非常当直。

5・21 兼頼米太郎学生主事ニ召集令状来ル

5・22 非常警戒ニツキ夜間集合

坂本幹事長、長原学生主事、西島少尉、猿渡会計課長、ニ之宮教務課長、学生30名

徹宵警戒ノ為残留

高島（学長） 西島、猿渡、二之宮

本日午前二之宮報国隊引率尾久ニ出動

金美館ニ待機 午前十一時警戒警報解除 午后一時帰校ス。

5・23

5・19附発専143号文部省教育局長指示  
決戦非常措置要項ノ件、来ル

山際教授退職ニツキ独逸語ハ橘高、鬼頭両氏分担トナル

6・8

大詔奉戴日

小沢文四郎教授応召決定、坂本、橘高氏、戦意昂揚ノ話アリ

本日ヨリ身体検査

6・9

身体検査終了。

来ル6月21日ヨリ7月3日迄

予科、専門部一年長野県東筑摩郡ニ麦刈ニ出動決定、学部ハ21日ヨリ27日迄野外教練ト決定。

6・10

午後二時教授会 16教授集合

学長ヨリ発言

1、勤労働員（麦刈部隊 石原産業部隊）ニ監督依頼ヲ各教授職員ヘ

2、6月17日学術研究会ニハ村川、志田両教授ニ願フ

3、学生主事欠員ニハ長原氏ニ特ニ願フ。

6・14 豊橋陸軍予備士官学校及浜松飛行学校視察ノ為土曜日迄

雨 坂本、毛塚、曹三氏出張、ソノ間ノ授業ハ鬼頭、関氏ニ依頼。

校友 小西光雄、吉田欣一諸君其他多数、邦家ノ為トハ云へ、寂莫ノ感一入ナリ。

6・15 学部18年9月卒業ノ免許状来ル、書留便ニテ発送ス。

曇 小沢文四郎教授ノ代リニ高田真治博士ニ交渉、来週ヨリ開講受諾アリ

午後6時警戒警報アリ尾久署ノ要請ニヨリ出勤セルモ引返ヘス、防護団ノ訓練ハお祭り騒ギノ如シ、

炊出ノ握飯既ニ腐廃シオレリ、夜 小林 吉田（博治中尉） 猿渡、ニ之宮、学生徹宵ス。

6・16 尾久署ノ要請ニテ第一金美館ニ出勤ス

曇 南京虫座席ノ間ニ潜行、学生困惑ス（引率ニ之宮）学生隊長ハ水野光圀ナリ、大学ハ 工藤（学生）

後藤（庶務）両課長

6・17 正午ニ尾久ヨリ戻リ教務課ノ書類整備ヲ為ス 睡魔甚シ、昨徹宵ノ為ナラン

6・19 午后四時ヨリ緊急ニ備フル教授会ヲ開ク

試験ハ6月29日（木）ヨリ7月5日（水）迄ト繰上ゲル、敵襲早キノ噂甚シ

午后四時警戒警報解除。

6・20 中等教員免状第二回来ル、発送準備スル

7 · 1

長野（東筑摩郡笹賀村）麦刈部隊（各科一年）夕刻ヨリ帰京ノ電報アリ、生徒中二三ノ不真面目アリト云ヒ、又引率教師ニ付テ芳シカラヌ噂アリ、何レモ信ジ難シ、時枝、高田両教授ニ答案送ル

7 · 24

10月開講ノ学部科目ニ関シ教授評議員会アリ

7 · 28

学部史学科 花沢・森岡論文遅延ヲ教務課長ノ責任ニ於テ一応預リ置ケト学長ヨリ命アリ、教授会ニ正面ヨリ当ラズ部下ノ課長ノ責ニ於テセヨトノ変則ナル融通性ハ高嶋学長トシテ狡猾ナリ。余ハソノ人格ヲ疑フコト本日切ナルモノヲ發見ス、立会小林氏ナリ、小林昌治君別室ニテ学長ト争ヒ辞職ノ旨本人ヨリ聞ク、学長ガ推薦シ且ツ今日ノ事態ニ到ル、不思議ナリ

7 · 29

城東区砂町ノ宮製鋼所ニテ勤労学徒ノ査閲アリ、査閲官山口少将「概ネ良好」ト講評。

8 · 7

予科一年専門部一年及学部ノ試験開始。

監督ハ二之宮教務 戸田会計両課長、

8 · 8

大詔奉戴日ニツキ試験前ニ式アリ、坂本氏訓辞ス

8 · 21

文部省国民教育局長 発国464号要旨

- 1、卒業試験ヲ施行セザルモ可ナリ、平常ノ学業成績ヲ基準トシテ適當ノ方法ニテ算定スルコト
- 2、学徒ノ勤労働員ハ出勤ノ事業場ニ就業シタル総日時数ヲ通算授業日時数トスル（実業教員ノ無試験検定ヲ受ケタル学校ハ日数）
- 3、中学・高女・無試験検定ヲ受ケタル学校ハ（許可）実業学校教員無試験検定ノ場合モ次ノ通り



開申スルコト

イ、勤勞動員ノ下令年月日

ロ、出動工場ノ名称所在地

ハ、出動ノ期間

ニ、出動学徒ノ学科別及学年名

ホ、出動者名簿

ヘ、卒業成績ノ算定ノ方法

9・7 古本始ニ 二之宮個人ノ金30円貸シ。

9・13(水) 学部卒業論文ノ口述審査会一時ヨリ始マル、

9・16(土) 学部卒業論文ハ時局ニ鑑ミ本年度限り非常措置トシテ期日后モ受付ケルコトヲ午后二時ノ教授会ニ

於テ決定ス。

奨學資金授与学部小島、専門部福本兩名

9・25 卒業式、卒業証書授與後ニ拓殖科卒業生五十嵐某 学長ノ退職、小林校友会副会長ノ辞任ヲ式場ニ

テ読ミ挙げ参列ノ学徒交々同調ス、突然ノ事ナリ、更ニ別室ニテ高島米峰学長及ビ坂本幸男幹事長

ニ退職要求ノ抗議アリ、両氏応酬ス。一般教職員ハ予期セザルコトニツキ唯阿然タルノミ、仄聞ス

ルニ右ノ拳ハ和歌山県紀州鉾山ニ勤勞出動中(監督荒木氏)ニ企テラレタルナリト云フ、是ヨリ前

紀州鉾山ノ代表等ガ（学生）大学ノ一方的押付ナリトシテ上京、東部軍司令部ニ学徒ヲ大切ニスル

様陳情シ 為ニ大学ノ配属將校森脇治吉大佐モ司令部ニ呼バレタル事件アルモ 学長、幹事長、森

脇大佐等ニテ協議ノ為事情判明セザルモ本日ノ争斗ニ関聯アルモノノ如シ（小林君ハ勤勞動員ノ

配置先ノ割当役ヲ承レル為ニ恨マレシト本日ニナリ判ル）高島学長 幹事長ハ時局ニ強制的ニ順応

セシメントスル言動ト両氏ノ私行トノ背反ヲ問ワレシコトモ判ル、ソノ他風評流言多ク学園ノ收拾

出来ザル無秩序状況起レルハ遺憾ナリ、学徒ヲ極力慰撫平静ニ導カント努力ス。

10・18

級主任会議ニテ経国科ノ高橋富夫ヲ応召ノ日附テ卒業サセルコトニ決メル、和田三雄ハ十二月二十

一日附ニテ学部ヲ卒業セシメルコトニ決マル

教務課 野手貞子君北京ニ単身出發ニ決マル。

午后三時第一回学長詮衡会開カル、先般ノ争乱ニツキ高島米峰氏辞意表明ノ為ナリ、詮衡委員、吉

田熊次、橘高倫一、西義雄、二之宮英雄、高野剛ノ諸氏集マル一応留任を請フ可ク申合セ散会ス。

10・20

猿渡會計課長ヨリ寄付金ノ清算顛末報告アリ、高島米峰氏盛ニ毒付ク、詮衡委員一同同氏宅ニ趨キ

タルモ到底問題ニナラヌコトヲ高島平三郎、吉田熊次両氏スラ言外ニ出ス、同行ノ橘高、二之宮、西、

高野氏モ認メル、岡村二一氏ハ欠席、一同辞ヲ低ク留任ヲ請ヒタルニ高島氏ハ「僕ガ留任スルナラ

氣ニ喰ハヌ奴ヲ全部ヤツツケテヤル」等々ナリ。

11・20

駒込林町今晚軒ニテ学長詮衡会アリ委員長ニシテ長老ノ高島平三郎教授ヲ推ス、同氏受諾サル、

12・1 高島平三郎新学長ト高島米峰旧学長ノ事務引継ギアリ、吉田熊次博士ハ理事、橘高氏ハ幹事長、

12・9(土) 維持員会ヲ開ク、学長ノ承認、理事ノ承認(午后二時)

維持員会後二下記発表アリ

学生主事 西義雄、長原鉄腸、二之宮英雄、教務課長 二之宮英雄、図書館長 広井辰太郎、

警戒警報アリ、宿直三名、学生側ハ学部二十名トス、

井上哲次郎博士病死、十三日ニ告別式ト決マル、教授中ノ最長老ニシテ博士中ノ最長老ナリ、香典ヲ贈ル、(編者註・七日死去)

12・11 文部省学專532号12月8日附ニテ藤原猶雪教授文学博士トナル、本学最初ノ学位獲得者ナリ、

12・20 午后二時専任教授会ヲ開ク出席、学長、吉田理事、西、長原、毛塚、小沢、坂本、曹、御巫、各教授、

橘高幹事長、二之宮課長、

イ、学校防衛ニ関シ各教授交替宿直

ロ、学内ノ在郷軍人会

ハ、学生旅行足留連絡

ニ、校庭防空壕ヲ掘ルコト

ホ、12月28日迄授業1月4日ニ事務所ヲ開ク

ヘ、学部、日立工場(茨城県多賀町)出勤ノ件

12・28

学部ハ勤労働員ノ為一月ヨリ三月末迄休講ノ手紙ヲ各教授ニ出ス、銃器庫ハ木造校舎（講堂隣ノ原田ホール）ヨリ図書館隣ノ第一号室ニ移ス 空襲ニ備フル為ナリ、入学案内不足ニツキ増刷注文

夕刻ヨリ空襲始マル、高野、岡田、荒木、工藤、後藤氏欠席。

12・30

文部省電話アリニ之宮監理課ニ出頭ス、

東專343号「11月28日附庶第一六一号申請ノ高島平三郎ヲ学長ト定メルノ件認可ス 文部大臣ニ宮治重」トアリ、帰途本郷西片町十番地ノ高島邸ヲ訪レ病臥中ノ高島学長ニ報告ス、学長病相当ニ重ク精神的衰弱ノ徴見ユ、近日長野県小諸に疎開静養ノ由。

昭和二十年

1・6

職員会議アリ時局認識ノ事務運営ヲ申合ハス

1・8

吉田熊次理事（学長代理）大詔奉戴式ヲ举行

1・13（土）

午后二時ヨリ各工場出勤中ノ生徒代表出席 連絡打合セヲ行フ、現在各教授ハ工場ニ在ル為メ、本日ハ橋高幹事長、西、ニ之宮両学生主事ノミ出席。城東区砂町ノ宮工場出勤生ノ登学授業日ハ第2、第4月曜ト決マル。

1・24(水) 午後二時学部教授ノ教授会アリ

イ、論文題目ハ自由トシ届出ニ及バズ

ロ、三月一日迄ニ教務課長ニ報告スレバヨイ、

出席 橋本増吉、加藤精神、久松潜一、藤原猶雪、萩原拡、高田真治、吉田熊次、坂本幸男、西義雄、

橘高倫一

1・27(土) 午后一時本郷区ニ初メテノ空襲被害アリ、白山下電停際ニ大型焼夷弾ニ発、東片町ヨリ丸山新町ニ

焼夷弾 火災ニテ民家焼ク、大学ヨリ消防出動鎮火ニ協力ス。

1・29(月) 夜空襲アリ爆弾本郷林町、道灌山停留所際破壊、焼夷弾ニテ林町、千駄木町、日本医大、根津神社、

専修商業等焼ク、大学ノ警備ニ一身ヲ捧グ可キ決意強クナル、宿直学徒モ緊張ス。

1・30(火) 当局ノ指令ニヨリ東洋大学在郷軍人会支部出来ル、午后二時山口東部軍兵務部長臨席

2・1 本日ヨリ国漢(専門部)一年ニハ二年ノ授業ヲ課スルコトニナル。

2・7 出動学徒第二班ノ書類審査(第二班ハ夜勤)

2・8 大詔奉戴日。

2・14 出動学徒監督教員会、坂本、毛塚、小沢、御巫、長原、二之宮、高野出席。

昼間ニ成可ク出動先ニテ授業スルコトヲ申合セル 空襲ト応召ヲ控へ落付キテ読書ニ就カシメント  
スル教授ノ発言ハ実情ニ即シタルモノニ非ズ ト感ズ。

2・18(日) 教務課伊藤龍夫君(校友) 応召。

昨年12月28日ニ1月10日迄帰省シタシト帰省中ノ学生課長工藤清君辞任ノ旨手紙来ル、学生課ハ児玉女史ノミ、教務課モ野手女史、伊藤龍夫氏去リニ之宮ノミトナル、学生課ノ仕事モ兼任奉仕トナル。

2・19(月) 文部省ヨリ時局ニ鑑ミ予科生ハ終了検定ノ上学部ニ入学許可セヨトノ指令来ル。

午后二時ヨリB 29百機ノ大空襲アリ校内被害ナシ。

2・25 朝ヨリ終日小型機ノ来襲頻繁、本郷富士前、神明町、上野池端、御徒町、神保町等爆弾投下ノ被害

雪 多ク、本郷林町ヨリ坂下町方面甚シ。

大学ノ校門前ニモ落ツ、ニ之宮九死ニ一生ノ危険ニ遭フ。

2・28 午后二時動員成績査定

3・1 予科ノ入学者発表

3・9 夜B 29約150来襲 下谷方面本所深川方面本郷蓬萊町方面業火天ニ冲ス凄惨ナリ、

本日専門部受験(入学)第一次合格ノ通知ヲ出ス、書類審査ニヨルモノナリ(第三班)

3・11 学部開講ニ関シ関係教授会アルモ集合悪シ。

3・12 専門部第一次発表 交通等ノ関係ニテ大学ニ在ルモノ 二之宮教務、後藤庶務両課長ニ岩本すゑ女

史、高野剛氏ノミ。

3・13 城東方面動員学徒ノ状況ヲ見ル為メ焼野原ヲ小岩迄ニ之宮教務徒歩ニテ午前八時發午后八時大学ニ

戻ル 学徒ノ身命異状ナシ。

3・14

近来ノ猛空襲ニ教授ノ集合悪キ為メ本日専任教授ノ会ヲナシ申合セアリ

イ、専任教授ハ一週少クモ四日ハ大学ニクルコト 若クハ工場ニ出ルコト

ロ、防衛上ノ問題

3・20

職員ノ家族強制疎開ノ件

在学生及落検評会(午后三時)開ク

3・24

専門部国漢一年入学決定、夜空襲アリ

3・25

専門部経国一年入学決定。

20・4・4

学部入学式ヲ講堂ニ挙行、参列者四名ナリ 昨夜新宿方面渋谷方面B29大爆撃アリ 時限バクダン

モ有リ、人心漸ク落付ヲ失フ、幹事長モ欠席。

4・5(木)

坂本幸男教授 緑起思想ノ展開(8~12時)

4・6(金)

吉田熊次教授 教育学(10~12)

4・7(土)

毛塚栄五郎教授 楽府(8~12)

4・9(月)

文部省ニ北海道有珠郡ノ援農部隊ノ報告ヲ出ス

4・10(火)

大手町ノ大東亜会館内東京都教育局ニ小宮山倭視学官ヲ訪ネ、御真影ノ警備上ニ関シニ之宮教務課

長打合セル、武州御嶽附近ノ三田奉遷所ニ合併ヲ要請ス。

午後二時専任教授会ヲ開キ

イ、出勤日

ロ、御真影奉遷ノ準備

ハ、貯水槽工事

ニ、北海道援農

ノ件ヲ決メ各級主任ヲ左ノ如ク発表サル

予科一年 加藤猛夫

予科二年 平野宣紀

経国一年 二之宮英雄

経国二年 西義雄

国漢一年 毛塚栄五郎

国漢二年 小沢文四郎

拓殖三年 曹欽源

国漢三年 御巫清勇

経国三年 坂本幸男

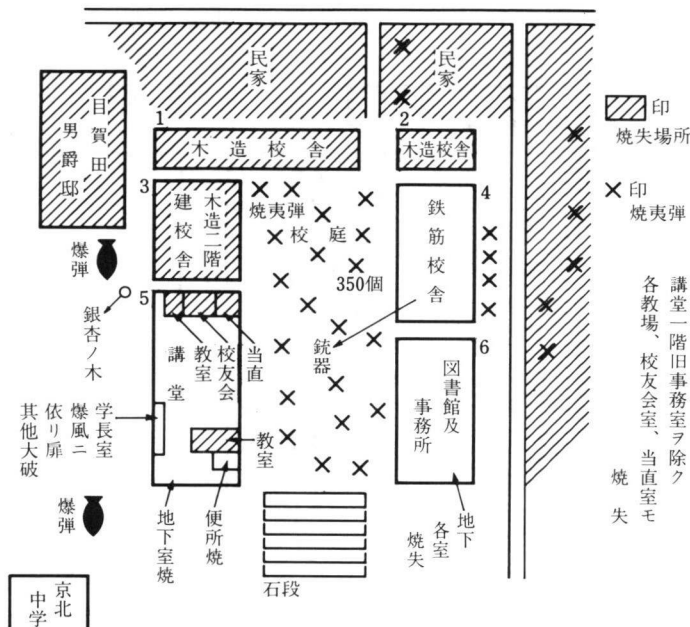
以上主任トシ担当ノ学科ヲ持ツ。



図1

三木造校舎全焼

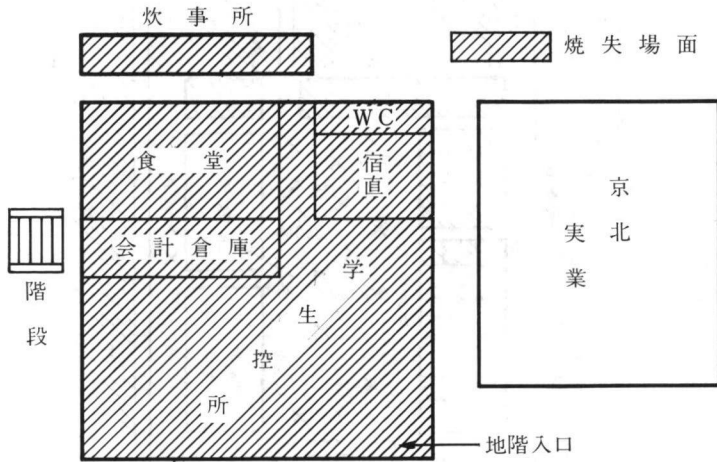
銃器ハ校庭中央ニ  
搬出ス



20  
・ 4  
・ 14

夜半（零時）ヨリB 29百八十機程ノ大空襲アリ。各地焼カルモ通信ト発表不明ノ為被害分ラズ  
 本学ノ焼失場所大要左ノ如シ（図1）  
 木造教室ハ全焼、講堂一階ノ便所竝ニ事務所ヲ除ク各室ハ京北側ノ火勢デ内部全焼、地下室モ全焼シタ。右侧ノ小使室、当直室、校友会室及ピソノ隣ノ教室モ机及ピ床全焼、学長室及ピ隣室ハ銀杏及ピ下ヘノ爆弾ノ爆風ニヨリ硝子、扉散乱シタ、重要書類学籍簿ハ図書館下ノ地下倉庫ニ入レテオイタノデ安全、図書館ノ書物モ安全。  
 図書館地階ノ各室ハ床モ焼ケ火ノ海。

図2 図書館地階被害調査



鉄筋校舎ノ一階ニアル銃及ビ教練具ハ(約300人分)猛火ノ中ヲ二之宮教務、後藤庶務両課長ニテ校庭中央ニ搬出スル、  
 講堂ハ一階火災ノ為入ル能ハズ  
 講堂二階南西隅ノ御真影ハ坂本幸男教授及ビ加藤猛夫教授搬出、坂本氏駒込中学校ニ奉遷。加藤氏爆風ニテ顔面ニ負傷セラル。  
 図書館地下室床面火ノ中ヲ二之宮教務課長突入、猿渡会計ノ蔵シオキタル大学ノ会計書類及ビ寄附債券ノ大袋焼失寸前ヲ漸ク搬出スル。吉田熊次理事立会フ無事ナリ  
 京北中学ハ書類学籍簿焼キ校舎モ内部全焼、白山、曙町、原町焼ケ大学ノミ残ル  
 京北実業ノミ無事ナリ  
 前学長高島米峰<sup>マツ</sup>氏息新聞紙少々呉レト来学、同氏宅モ焼失

大学ノ後日ノ為記ス(図2)

配置ヲ(校内)次ノ如ク定メル

食堂ノ味噌・米焼失、焼味噌ヲ校庭ノ残火ニテ湯ヲ沸シ京北側ノ土堤ノ山ゴボウノ芽ヲ実トシ見舞ノ者ニ味噌汁出ス

目賀田男爵邸ノ银杏樹ノ下ニ爆死者三名、目賀田男毛爆風ニテ負傷、二之宮教務課長見舞フ。

4・15  
本日ヨリ重要書類ノ残リハ図書館地下倉庫ニ移ス

4・17  
御真影奉遷ニ関シ東京都教育局総務課学事掛高野属ヲ訪問ス

4・18  
校内ノアト始末ヲ為ス、出席者

坂本、西、毛塚、平野各教授、橘高幹事長、二之宮教務、後藤庶務両課長、

講堂下ノ宿直室ヲ図書館一階ノ専任教授室ニ本日ヨリ移ス。

後藤庶務夫婦白山御殿町焼失ノ為専任教授室ニ移ル。

4・20  
文部省ト連絡顛末

1、北海道援農部隊学生ハ5月9日出発 時間不詳、150名トスル

2、特別幹部候補生ハ軍管区ト連絡

3、北海道ハ函館ニ近イ穩別第一区移動申告、着替ノ件、

4・21

残留学生登学ス。

北海道援農ノ件ニツキ注意スル 午后三時京北側ト理事打合会

出席 大学側維持員 吉田熊次、橘高倫一、二之宮英雄、高野剛、

京北中、実維持員 村山教頭、柴田甚五郎

席上京北村山氏報告 学籍簿ハ地下室ニ置キ大半焼失、重要書類焼ク、会計書類焼ク、現金ハ金庫ニテ安全、中学トシテハ決算書出来ヌカラ昨年ノモノヲ標準トスル仮ノモノヲ作ル、保険ハ37万円位アルカラ ソレデ復興ニ充テタイ、

4・23 都教育局ニ高野属ヲ二之宮教務課長訪フ、

属曰ク御真影ノ件文部省ニテハ奉遷ノ餘地ナシトノ事ナリ 交通網破レタルニヨリ水道橋ヨリ徒歩。

5・2 午前十時学生主事及生徒主事ノ合同会議ヲ為ス 二之宮、西両主事及新任ノ荒木勝良、高野剛両生

徒主事出席、

雨ノ為原町日新館旅館附近ノ疎開作業ヲ中止セシム

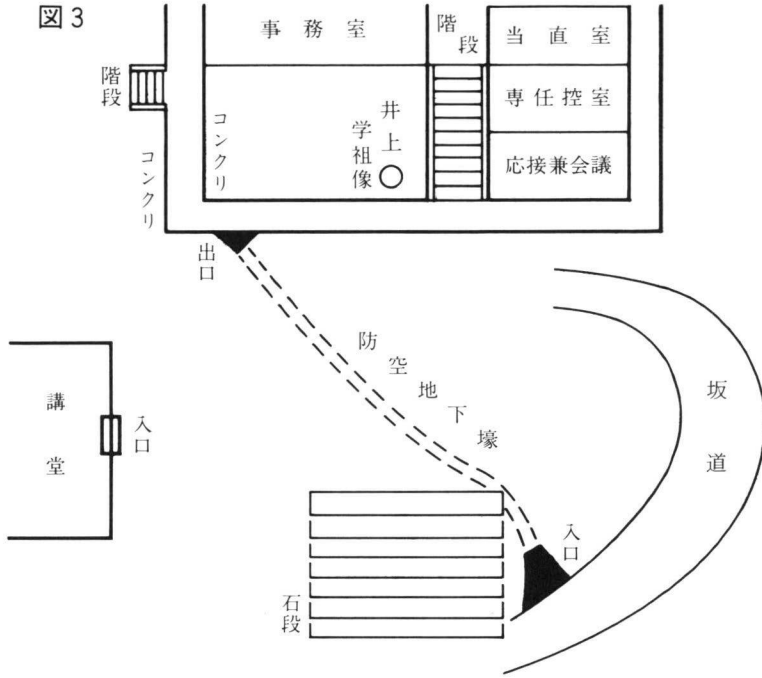
北海道援農部隊ハ5月9日午後4時30分発、弁当ニ食分携帯ト決定ス。

5・7 学長高島平三郎氏五月五日附ニテ辞表提出サル信州小諸ニ疎開ノ為ト。

5・8 大詔奉戴式、学徒ノ動員出動式挙行、

本日ヨリ二谷氏ニ委嘱防空壕200尺地表ヨリ一間半下ヲ掘リ始メル人夫4人ナリ(図3)

図 3



5  
・  
20

5  
・  
19

5  
・  
16

正午頃艦載機来襲ス、軍事施設  
 及ビ飛行場攻撃サル  
 学内ノ勤労作業ハ漆原工場ノ仕  
 事、軍用双眼鏡ノケース造リナ  
 リ、部隊主任ニ之宮、高島平三  
 郎学長ノ辞表受理ノ維持員会決  
 定 同氏ニ受理ヲ通知。  
 御真影奉遷ニ関シニ之宮文部省  
 ニ出頭、三多摩氷川ニ奉遷ノ輸  
 送上ノ打合ニツキ平野教授富坂  
 署及ビ警視庁ニ出頭ス、  
 高島米峰学長時代ノ寄附勸募願  
 末ニ関シ下谷郵便局ヨリ発送ス  
 (本郷局ハ集配不可能ナル)  
 昨日ニ続キ決算報告34通生徒四  
 名ノ手ヲ借り下谷局ヨリ発送

ス。

将来ノ為空瓶六十本ヲ（二之宮私有ノモノ）校庭ニ埋メル

北海道援農部隊ノ毛塚教授（虻田郡豊浦村教心寺）ヨリ来信。

5・22(火) 文部省秘書課ニ二之宮課長出頭（午后二時）奉遷ニ関スル次官通牒ヲ受ケ警視庁輸送掛ノ竹内警部

ヲ訪ネ富坂署ニ交渉シテ貰フ。

5・23(水) 午前都庁（大東亜会館）ニ高野主事ヲ訪レ三田（三多摩）ニ奉遷ニ決メ帰途、富坂署ニ交通掛ヲ訪フ、

美髭ノ掛親切後楽園ノタクシーニ交渉シテ呉レル 24日朝9時ニ返事ヲ待ツコトニナル

池袋ニテ焼ケタル猿渡會計課長登校 暫定的ニ庶務課長ノ後藤彦治郎氏ニ代行決マル、

5・24(木) 白山御殿町方面敵襲ニテ全部焼ケル 大学内ノ焼残リノ木造モ焼ケル、学長代理吉田熊次博士モ罹

災、夫人及ビ令息昇氏ト共ニ大学内ニ泊ルコトニナル 炊事ハ二之宮担当、蒲団ハ二之宮ノモノヲ

使用スルコトニナル

林町ニテ焼ケコゲノ罐詰数個拾ヒ来ル之ニ食堂倉庫ノ焼ケ残リノ米及ビ土堤ノ山ゴボウノ芽ヲ吉田

氏一家及二之宮ノ食糧トスル、後藤夫妻ハ別室ニテ自炊スル

5・25(金) 本日モ昨日程度ニ焼夷弾校内ニ落下スル

5・29(火) 理事吉田熊次博士罹災ニツキ郷里山形ニ引退シタキニツキ理事ノ執行事務ヲ理事代理トシテ二之宮

英雄ニ委任状出サル、学長事務ハ橋高倫一氏ニ委任サル、学長代理吉田氏ハ山形東置賜郡中川村元

5・30

中山ニ引上ゲニ決マル。橘高氏モ交通不便ノ為ニ之宮学内ニ常泊非常措置ノ用意ス。

高島平三郎学長辞任ニ伴フ後任詮衡委員ヲ下記ニ決定ス

教授側 出隆 加藤精神

校友側 二之宮英雄、高野剛

本日校友会役員ハ総会ノ結果時局ニ鑑ミ評議員ノ任期ヲ一期延期シ

常務委員 平野宣紀、荒木勝良、大橋留三郎、広瀬了義、伊東清

同監事 溪義昌 ヲ補充ス

教練助手若林君退職、

5・31(木)

午前十時御真影ヲ西多摩郡氷川村小学校校内奉遷所ニ移スコトニナリ西義雄、橘高倫一両氏及後藤庶務奉仕シテ奉遷スル

文部省ヨリ学徒出陣及ビ勤労部隊ハ単位不足ニテモ其ノ儘教員検定委員会ニ提出差支ナシト通牒ア

リ 29日夜ノ横浜空襲B 29 560位ト聞ク。

猿渡会計ノ後任ニ長橋氏顔見世ニ来ル

20・6・1

加藤猛夫教授北海道勤労部隊ニ出發、陸軍造兵廠ヨリ講堂下ノ地下室ヲ倉庫ニ使用ノ為下検分ニ来ル。

6・2

大学権災ノ状況ヲ文部省ニ出頭報告

6・5

庶務課長後藤氏罹災ノ為一先ズ郷里ニ戻ル 本年度新入学生ハ勤労働員先決定迄上京見合ハセシムルヤウ文部省ヨリ通知アリ各生徒宛通知出ス

6・6

井上学祖墓前祭、西教授、校友会小林書記参列、藤原猶雪、杖下隆之教授来訪 罹災ノ旨告ゲラル  
平野宣紀氏ノ斡旋ニテ蚊張一張求メル、大学宿直用ナリ。

6・7

午前十時京北実業会議室ニテ学長詮衡ノ委員会(第一回)ヲ開ク 委員次ノ通り  
加藤精神、西義雄、橋高倫一、出隆、橋本増吉、二之宮英雄

委員会ハ座長ニ橋本増吉氏ヲ推シ候補者トシテ安藤正純氏ヲ推スコトニナリ交渉委員トシテ下記ヲ定メ十一時散会

加藤精神、橋本増吉、二之宮英雄

6・8

学内勤労部隊ノミニテ大詔奉戴日挙行

6・26

新入一年ハ相模原沢井部隊ニ100名派遣ニ決メル。皇国2066工場(三輪豊照氏工場) 200名ノ予定トナル岐阜県関町ノ工場ナリ

防空壕ニ横穴ヲ作り戸棚ヲ入レ学籍簿ヲ收藏ノ用意成ル

沖繩玉碎ラシキ悲報ラデオニテ伝ハル。

6・29

安藤正純氏ニ大羽使丁ヲ遣ハシ会见ヲ申込ム、同氏ヨリ二之宮、加藤精神、橋本増吉ノ三委員ニ近ク会フ旨返事アリ



7・3 三委員打合せ四日ニ安藤正純氏ニ打診スルコトニナル

7・4 大羽使丁使ヒスル 6日ニ護国寺ニテ会見ニ決マル

7・10 学部卒業論文提出受附

1、支那上代ニ於ケル政治思想 支那哲 小野忠雄

2、武門武士勃興ノ史的考察 史学 半沢海学

3、俳階ハイカの意義について 国文 神谷俊子

4、般若 仏教 和田吉人

北多摩郡東秋留村安藤正純氏へ使大羽使丁ノ車賃5円、ローンク6円

7・16 銀座交詢社ビルニテ安藤正純氏ニ橋本、加藤、二之宮三委員会見 同氏固辞シテ受ケズ、控室ニテ

橋本氏自ラ学長就任ノ希望ヲ明カサル

7・17 詮衡委員会ヲ開キ16日ノ顛末並ニ橋本増吉氏ノ意向ヲ伝フ協議ノ結果同氏ヲ学長ニ推スコトニ決定

7・18 芝青松寺ノ校友杉村哲夫氏ヲ理事ニ推スコトニナル同氏受諾。

7・19 杉並ノ橋本氏宅ニ橋高、二之宮、高野三委員訪問 杉村氏理事受諾報告。

7・20 新旧学長引継事務書類作成。

7・23 新学長ヨリ幹事長西義雄 幹事二之宮英雄、加藤猛夫、高野剛 学長秘書二之宮英雄、教務課長毛

塚栄五郎ト任命発表アリ

席上異論アリ二之宮ハ任命返上スル

7・25

新入生入所ヲ神奈川県田奈ニ行フ

田奈部隊ニ入ル夜川崎大空襲ニ会フ

7・28

橋本増吉氏ノ学長就任ヲ維持委員会ニテ決定

8月15日終戦日本ノ動向、大学ノ運命、国民ノ運命、何レニ向フカ 虚脱、空白、寂寥ノ極ミ

昭和20年10月

二之宮教務課長ハ教務課長及ビ学生主事ヲ辞ス、杉村理事ノ注意ニ依リ講師辞任ハ後日トスル

昭和20年大学被害、覚書、

当直室備付ノ寝具、拡声器、其他 4月14日ノ空襲ニ依リ焼失、

当直室ノ隣ノ校友会室ノソファ及ビテーブル等焼失(同日)

校庭ノ桜樹焼失 消防ポンプニ台共焼失

練習用トラツク焼失

御真影室ノ鍵破損ニツキ校友会小林書記作成ス、

講堂天井数ヶ所焼く、

新館旧館ノ机及椅子焼失、

図書館裏ノ食堂炊事具焼失、

本日ヨリ断水、通信電話断絶、電車全部交通不能トナル、

空襲中 使丁羽石藤五郎ハ校内

使丁大羽紋治ハ校外通勤

(編者註) 地図について

いずれも二之宮氏が描いた略図である。図1は爆弾、焼夷弾、焼失場所を示したものの、焼けなかった講堂、図書館及び事務所が説明的に附加されているが、この二つの建物は縦長でなく、横長であった。(事務所は現在の短大事務室)

図3は防空地下壕の位置を示した。石段横の坂道を上がった右手に事務所があり、そこから坂下まで掘られた。講堂はその対面すなわち石段の左手にあることを象徴的に小さく描いた。

附・二之宮英雄氏 略歴

- 一九〇三（明治36）年六月六日生まれ（本籍三重県）
- 一九二五（大正14）年四月 東洋大学専門部倫理学東洋文学科入学
- 一九二八（昭和3）年三月 同卒業
- 一九二九（昭和4）年四月 東洋大学倫理学教育学科編入学
- 一九三〇（昭和5）年三月 同卒業
- 一九三〇（昭和5）年四月 東洋大学文学部国文学科入学
- 一九三二（昭和8）年三月 同卒業
- （この間、一九二八年四月郁文館中学校教諭、翌一九二九年四月郁文館商業学校教諭を兼任、一九三四年 郁文館両校幹事となり、一九四三年二月両校退職、一九四二年五月から東京民事地方裁判所所屬 戦時民事特別調停委員）
- 一九四二（昭和17）年十一月 東洋大学校友会副委員長
- 一九四三（昭和18）年七月 東洋大学教務課長兼学生主事、東洋大学財団維持員
- 一九四五（昭和20）年 東洋大学退職
- 一九七〇（昭和45）年四月十四日死去、六十五歳